

## 通常の水を張る稲栽培

水を張った水田に苗を植える

## 水を張らない稲栽培（節水型）

水を張らない水田に種籾を播く

4月	上旬		水を張らない稲栽培は4月上旬に種籾を播くが、水を張る稲栽培はその時期農業用ハウスで育苗を行い、水田の乾燥を続ける。	田おこし 整地 播種 土の鎮圧	
	中旬	田おこし 			
	下旬				
5月	上旬	代掻き 		播種から約2週間ほど、5月上旬～中旬頃に稲が発芽する。	
	中旬				
	下旬	田植え 		5月上旬頃になると発芽が始まる。従来の乾田直播は播種後30日頃に水田に水を入れるが「節水型」の栽培方法は基本的に水を入れず、与えない。	
6月	上旬		6月上旬頃時点では通常の水を張る稲栽培の稲の方が約2週間成長が早い。		
	中旬		6月中旬頃に、2種類の水田の稲の成長の差は1週間分ぐらいに縮まる。		
	下旬				

## 通常の水を張る稲栽培

水を張った水田に苗を植える

## 水を張らない稲栽培（節水型）

水を張らない水田に種籾を播く

上旬



7月頃には稲が分けつ\*を繰り返して地表の隙間が減り2種類の水田の景観が揃ってくる。

\*根元から茎が新たに出て稲の本数が増えること。



7月

中旬



スイデンテラスが実践する水を張らない稲栽培の稲の根は、土壌から水分や栄養分を摂取しやすい毛細根になる。

下旬

上旬



8月頃には2種類の水田の稲の高さが揃い、分けつで土壌も見えなくなってくる。違いを感じないほどまで成長する。



8月

中旬

8月中旬には稲の花が咲き始め、稲全体が黄色味を帯びてくる。



下旬

上旬



9月

中旬

9月中旬～下旬頃には稲穂の籾が成長して重くなり稲は首を垂れるようになる。



下旬



## 通常の水を張る稲栽培

水を張った水田に苗を植える

## 水を張らない稲栽培（節水型）

水を張らない水田に種籾を播く

上旬

10月

中旬

### 稲刈り

水を張らない稲栽培の水田の稲刈りも通常の方法で行われる。



下旬

11月

稲刈り後は来年の栽培に向けて水田を乾燥させ、休ませる。



12月

降雪の日が増え、例年はこの頃から少しずつ水田に雪が積もり始める。



1月



2月

雪が多い年は2月頃は水田は雪に覆われ、一面の雪景色になる。



3月

3月頃になると春に向けて少しずつ気温が上がり、水田の雪が融け始める。



「SUIDEN カレンダー」に添って鑑賞用の稲の栽培を行います。

しかしながら、近年の異常気象や土壌環境次第ではスケジュールが変更になる可能性があります。

ご理解いただきますよう、お願いいたします。